

県立高跡地に食品工場

ベジテック 来年4月着工へ

ときがわ町と鳩山町にまたがる旧県立玉川工業高校の跡地に、青果加工・仲卸会社「ベジテック」（川崎市）の食品加工工場が立地することが決まった。現在は校舎の解体などが進められており、2018年4月

着工、19年4月操業開始を目指すとしている。新工場は敷地面積約3万8000平方メートル、24時間稼働でカット野菜やカットフルーツを生産する。常時200人以上が勤務する予定で、地元への雇用創出効果

も期待できるといふ。

同社は、地産地消が可能で都心に近く、水が豊富



な用地を探しており、同校跡地を雇用創出に結び

つきたいと考えていたときがわ町と利害が一致。同町が県から土地を買い取り、同社に貸し出すこと

にした。遠矢康太郎社長は、「埼玉は関東でも野菜の生産量が多く、年間を通して調達できる利点がある」と狙いを説明し、「会社としても大変な大型投資。腰を据えてやりたい」と話した。遠矢社長から報告を受けた上田知事は、「県産野菜を積極活用して、埼玉で事業を拡大してほしい」と期待感を示した。

した。

てやりたい」と話した。遠矢社長から報告を受けた上田知事は、「県産野菜を積極活用して、埼玉で事業を拡大してほしい」と期待感を示した。